

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅042-795-7361



地元排除の指定管理議案に反対

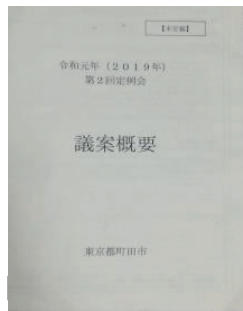
南町田の鶴間公園を大整備して、建設中のショッピングモールに直結した形にする工事が進められています。町田市のように、ここまで地方自治体が民間事業に資金投入する方法自体には、以前から疑問だと指摘してきました。

さらに、今回は公園の管理運営や事業の展開を事業者に一任する「指定管理制度」を、地元業者を含まないグループに<10年間も>任せると町田市が提案し議会が決めました。私は公共施設運営の在り方は、本来、地元業者が担当して、市民利用を優先して決定すべきものと理解していますが、現状は特定企業が公共用地の利便性を専有するスタイルになっています。今回の応募条件も市内業者が参加できないハードルが架せられており、開かれた競争とは言えない設定です。

翻って、町田市立体育館、町田市陸上競技場、ひなた村等々の管理運営においても、市内業者がことごとく駆逐されています。芹が谷公園、薬師池もほぼ同様な傾向を見せていますが、いずれ、町田市内の大型施設の管理運営の全てが市外業者に取りられ、市民税、利用料金の地域還流、還元は排除され、中央・外部事業者に吸い上げられる構造に一層傾斜するあり様を示しており、町田市政はゆゆしき事態になってきたと思われまます。



町田市の施設配置構想図面



中学校給食無料試食会予算案に賛成討論

喫食率向上のため、保守の会が提唱した内容

第46号議案 補正予算案に計上されている中学校給食無料試食会事業を、従来より保守の会が提唱してきた中学校給食無料試食実験ととらえ、大いに評価して、下記(要旨)の賛成討論を行いました。(可決)

この無料試食実験の必要性は、私たち「保守の会」が本年冒頭、地元紙の元旦号の記事広告の形で「中学校の給食の無料試食実験を提唱しています」と言う文言で、一般に公表したものです。その後、「保守の会」でいくつかの検討を重ねました。先の第一例会の3月7日、行われた代表質疑において、「保守の会」の白川哲也代表は、「中学校給食の無料試食実験を実施することが、低迷する給食弁当の喫食率の向上になるはずである」という観点から、行政施策の新規提案したものでした。



これまでに業者委託の中学校給食弁当の利用状況は、当初の40%台から、わずか10%の喫食率に低落しており、その現状打破の施策として評価するものです。すなわち、「中学生の8割が食べたことが無い」ということに着目し、その「一点突破」を図るものになりうるのでしょう。

★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート①中里 叶夢

夏季休暇研究生の募集結果、2名を受け入れ

今回は吉田つとむさんと面談をしました。お会いしてお話するまでは市議会議員であるつとむさんのインターンに対する想像があまり湧きませんでした。ですが、お話する中で私の専攻する農学分野において、町田市で行われている農産物に関するお話も出てきて、農学分野という方向性で研修を実施させていただくことも検討するとのお話もあり、より今回のインターンシップにおける研修への期待が具体的に湧いてきました。

また、お話しする中でミドリムシの大量培養で一躍有名になりました株式会社ユグレナ代表取締役社長の出雲充さんが本インターンの一期生であるというお話もお聞きしました。出雲充さんもつとむさんのインターンで研修を積んでいたという驚きと同時に、将来を考える中で特定の方向に縛られない視野の広さを身に付けることの重要性を改めて認識しました。これから始まりますインターンの中では、私が専門に学ぶ農学分野には縛られずに幅広い分野の研修に励んでいきたいと考えております。

玉川大学2年生 中里 叶夢(第44期生)



廃棄段ボールが財布に

ファッション分野の最新情報を聴く機会

「段ボールはたからもの 偶然のアップサイクル」(島津 冬樹氏:段ボールアーティスト)の講演・対談(萩原 輝美さん:ファッションディレクター)を聴きました。主催は、CARATO71PROJECT WORKSHOP、共催はユニバーサルファッション協会でした。



島津冬樹氏は多摩美術大を卒業し、広告代理店を経てアーティストになった人物。2009年より世界35カ国を回り、路上や店先で放置されている段ボールから、財布を作る”Carton”をスタート。現在では国内外での展示やワークショップを開催している。2018年自身を追ったドキュメンタリー映画『旅するダンボール』(監督:岡島龍介 / 配給:ピクチャーズ・デプト)が公開。講演では、画像や映像を用いたスタイルでした。

高給素材を目にすることにはある意味で慣れているのですが、世界を自分が回って集めた使用済みの段ボールを素材にした作品作りは、こだわりの異色性を実感した次第でした。さらに、その財布は1点で数万円!「ものを買うのではなく、サステナブル(Sustainable)なことへの感動の対価」と思えました。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。